

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成29年8月10日 (2017.8.10)

【公開番号】特開2016-155037(P2016-155037A)  
【公開日】平成28年9月1日 (2016.9.1)  
【年通号数】公開・登録公報2016-052  
【出願番号】特願2016-115947(P2016-115947)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月28日 (2017.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定情報に基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技を行うか否かの判定を行う判定手段と、

前記判定情報を記憶する記憶手段と、

演出を行わせる演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、前記特別遊技中において複数の演出図柄を変動表示させてから停止表示させる特別遊技中図柄演出を実行可能であり、前記特別遊技中図柄演出において、前記複数の演出図柄の停止態様を前記判定の結果に基づいて決定することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明に係る遊技機は、判定情報に基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技を行うか否かの判定を行う判定手段と、前記判定情報を記憶する記憶手段と、演出を行わせる演出制御手段と、を備え、前記演出制御手段は、前記特別遊技中において複数の演出図柄を変動表示させてから停止表示させる特別遊技中図柄演出を実行可能であり、前記特別遊技中図柄演出において、前記複数の演出図柄の停止態様を前記判定の結果に基づいて決定することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明に係る他の遊技機は、始動条件の成立に基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技を行うか否かの特別遊技判定を行う特別遊技判定手段と、前記特別遊技判定が行われる

前に前記特別遊技を行うか否かの事前判定を行う事前判定手段と、前記特別遊技判定の判定結果に基づいて、特別図柄を特別図柄表示手段にて変動表示させてから停止表示させることにより、特別遊技判定の結果を表示する特別図柄表示制御手段と、前記特別遊技判定手段により前記特別遊技を行うと判断された場合に、前記特別図柄表示制御手段により前記特別図柄が変動表示されてから停止表示されるまでの間で、複数の演出図柄を変動表示及び停止表示させて、前記特別遊技が行われることを示唆する演出を実行する第1演出図柄表示制御手段と、特別図柄表示制御手段により前記特別図柄が停止表示された後に、前記特別遊技を実行することができる特別遊技実行手段と、前記特別遊技実行手段により前記特別遊技が実行されているときに、前記複数の演出図柄と同一又は異なる複数の演出図柄を変動表示及び停止表示させて、前記事前判定の結果を示唆する演出を実行する第2演出図柄表示制御手段と、を備えることを特徴としている。